

国立歴史民俗博物館 研究報告

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

2015



宇田川武久 ふたたび鉄炮伝来論

春成秀爾・工藤雄一郎・稲原昭嘉 魚住泊の位置と年代

渡辺 滋 広橋兼秀の有職研究

【資料紹介】

酒井茂幸 国立歴史民俗博物館蔵後奈良天皇宸翰『詞花和歌集』

『国立歴史民俗博物館研究報告』（第171集～第190集）総目次

第190集
平成27年1月

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第190集**

平成27年1月

目次

ふたたび鉄炮伝来論……村井章介氏の批判に答える	宇田川武久	1
魚住泊の位置と年代……明石市江井ヶ島港出土木材の再検討	春成秀爾・工藤雄一郎・稲原昭嘉	83
広橋兼秀の有職研究……中世貴族社会における「場名介」認識の一例として	渡辺滋	29
〔資料紹介〕 国立歴史民俗博物館蔵後奈良天皇宸翰『詞花和歌集』……解題と翻刻	酒井茂幸	57
『国立歴史民俗博物館研究報告』(第一七二集)第一九〇集)総目次		103

Bulletin of the National Museum of Japanese History Vol.190

Contents:

UDAGAWA Takehisa

Another Study of the Introduction of Guns to Japan : As a
Counter-argument to the Criticism of Dr. Shōsuke Murai 1

HARUNARI Hideji, KUDO Yuichiro and INAHARA Akitaka

Place and Dates of *Uozumi-no-Tomari* : Reconsideration of the Buried
Woods Excavated from the Eigashima Port, Akashi City 83

WATANABE Shigeru

Research on Katsuhide Hirohashi : As an Example of the Recognition
of “*Yomei No Suke*” on Aristocratic Society during the Middle Ages 29

Research Materials

SAKAI Shigeyuki

Emperor Gonara’s Handwritten Manuscript of “Shika Wakashū
(Collection of Verbal Flowers)” Held by the National Museum
of Japanese History : Reproduction with Explanatory Notes 57

Contents of “Bulletin of the National Museum of Japanese History” vol.171～vol.190 103

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認められた者
- 3 寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳か抄訳を付ける。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、800字以内の日本語要旨と400語程度の英語要旨を付けるものとする。また、5項目以内のキーワードを付ける。
- 7 寄稿する原稿の分量は刷り上がり40頁(写真・図版・表および論文要旨等も含む)以内に収めること。また、写真・図版等は掲載箇所を指示し、大きさを指定すること。カラー頁は原則として認めない。なお、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。

1頁あたりの構成：縦書	32字	27行	2段	(1,728文字)
横書	44字	37行	1段	(1,628文字)

文字の大きさ ：13Q
大きさの目安 ：版面 横 169mm × 縦 237.5mm（最大）
- 8 写真・図版等の掲載に関する許諾は寄稿者がとること。
- 9 寄稿の際は打ち出し原稿3部及びFD、CD等電子媒体1部を添付すること。
- 10 寄稿された原稿は、委員会において査読者を定め、審査のうえ、採否を決定する。
- 11 寄稿された原稿等は、採否に関わらず返却しない。ただし、写真・版下図版等返却が必要なものは申し出ること。
- 12 『国立歴史民俗博物館研究報告』の編集著作物としての著作権は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあるが、投稿原稿等の著作権は、各投稿者にある。
- 13 論文要旨および英文要旨については、博物館のホームページに掲載を承諾するものとする。
- 14 機関リポジトリ等への掲載は、研究報告の紙型を用いた場合は研究報告刊行から一年後以降に、また紙型を用いないデータのみの場合は、研究報告奥付日以降に初出を明記した上で掲載をすることができる。
- 15 博物館で作成する抜刷は、100部までとする。
- 16 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 17 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 番地
国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

[国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会]

館外委員 (五十音順)

岩城卓二 京都大学人文科学研究所
小島孝夫 成城大学文芸学部
日高慎 東京学芸大学自然科学系
水野僚子 日本女子大学人間社会学部

館内委員

坂本稔 情報資料研究系
原山浩介 歴史研究系
松尾恒一 民俗研究系 (編集委員長)
山田康弘 考古研究系
関沢まゆみ 民俗研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第190集



平成27年(2015)1月30日 第1版第1刷発行

(非売品)

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123(代)

印刷・製本所



祥文社印刷株式会社

〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4-15-17

[装丁] 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History



Another Study of the Introduction of Guns to Japan :
As a Counter-argument to the Criticism of Dr. Shōsuke Murai
UDAGAWA Takehisa

Place and Dates of *Uozumi-no-Tomari* :
Reconsideration of the Buried Woods Excavated from the Eigashima Port, Akashi City
HARUNARI Hideji, KUDO Yuichiro and INAHARA Akitaka

Research on Katsuhide Hirohashi :
As an Example of the Recognition of “*Yomei No Suke*” on Aristocratic Society during the Middle Ages
WATANABE Shigeru

Research Materials

Emperor Gonara's Handwritten Manuscript of “*Shika Wakashū* (Collection of Verbal Flowers)” Held
by the National Museum of Japanese History : Reproduction with Explanatory Notes
SAKAI Shigeyuki

Contents of “Bulletin of the National Museum of Japanese History”, vol.171~vol.190